

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	「国語総合」に関しては3年間を見通し、2，3年次で学習する「現代文B」にスムーズに移行できる教科書を選定した。「国語表現」はより実践的・総合的に活用できるものを選んだ。「現代文B」は1年次で使用した「国語総合」の継続性を重視して選定した。「古典A」については本校の生徒の実態に即し、分量や程度を重視して選定した。
	地理歴史	一単元が見開きで構成され、図や写真が豊富で生徒にとって読みやすく、程度が生徒の実態に即し適当であることから選定した。
	公民	内容が系統的であり、配列も身近な生活から始まり、最終的に国際社会で終わるなど進めやすく、関連付けも適切で分量もよいことから選定した。
	数学	提示されている例題や問いが適切で、本校の生徒の実態に即している。また、本文や図表等が大きめで鮮明であり、内容を理解しやすいと思われるので選定した。
	理科	図や写真が多く、文章表現が分かりやすい。程度が本校の生徒の実態に即していることから選定した。
	保健体育	内容が教科・科目の目標に適合していて、見開きで構成されていて進度が計画しやすい。資料、写真等もカラーで分かりやすく、文字の量とのバランスも良いことから選定した。
	芸術	音楽、美術、書道、工芸ともに分野の扱い方のバランスがよく、使いやすいことから選定した。
	外国語	主に英文の難易度、文量、ページの構成、題材という観点に立ち、教科書を比較検討した結果、概念的な内容をイラストを用いるなどして、分かり易く説明ができるよう工夫された教科書を選定した。
	家庭	最低限の資料（食品成分表等）も掲載されており使いやすいうえに、内容構成に創意工夫があり、本校生徒の実態に即していることから選定した。
	情報	本校生徒の実態に即している。内容も教科・科目の目標に適合している。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	本校生徒の実態に即している。内容も教科・科目の目標に適合している。
	工業	
	商業	図表・資料などがわかりやすく、生徒が興味を持ちやすいことから選定した。
	水産	
	家庭	「ファッション造形基礎」「子ども文化」は他の教科書がないため、選択の余地はない。「子どもの発達と保育」については図表、資料等がわかりやすく、生徒が興味関心をもって読めること、内容が生徒の実態に即していることから選定した。
	看護	
	情報	「情報デザイン」については、この教科書しかないため選択できない。内容も本校の生徒にとって適当である。
	福祉	